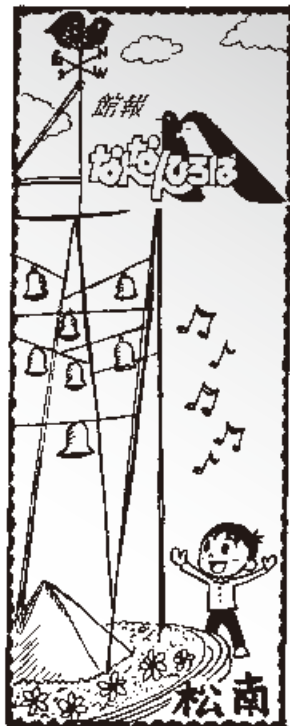


# 近頃の「ラジオ体操事情」



しい」など、お年寄りからいろいろな声が…

しかし、「夏休みは当番があったり、青山様、ぼんぼん」と行事に追われるため、日程は限界だ」との声も…

## ●双葉南町会

小学校の夏休み期間中、12日間実施。小学生を中心に平均10人が参加、皆勤した児童は3人とのことでした。

## ●南松本2丁目町会

7月25日から31日まで実施、平均で毎朝児童が14名、付き添いの大人5名程度とのことでした。

## ●双葉町

鍋林駐車場をお借りして、夏休みの初日の7月25日から3日間行い、保護者同伴で平均40〜50名の参加がありました。雨天時の対応として町内公民館が予備会場として確保してあることが心強かったとのことでした。

## ●芳野町

松南地区公民館西側の駐車場、ここで今年も7月25日〜8月1日まで開催、高齢者の多い町会らしくお年寄りも参加してのぎやかなものでした。「もつと長期間やればいいのに」「告知をしっかりとってほ

## ●南松本1丁目町会

7月25日から30日の5日間実施。参加児童21名、小学5年・6年が皆の前でリード。最終日に児童全員で草刈りをしていくとの清々しい話題もありました。

## ●宮田西町会

7月25日から8月19日のうち、土・日、お盆期間中を除き14日間実施されました。参加した児童は1日平均20名前後とのことでした。

## ●宮田中町会

7月28日〜8月1日の5日間、開明小学校校庭で実施。高学年の男女2名のリーダーのもと、一日の良いスタートが切ることができ、最終日は全員で校庭のゴミ拾いを行ったとのことでした。

## ●宮田東町会

宮田中町会と同じく開明小学校校庭で同じ日程で実施。マンション3棟を抱える宮田中に比べ当町会は児童数も少なく、寂しい思いがあるとのことでした。

## ●双葉西町会

7月27日から8月8日まで実施。毎日25〜30名が参加。夏休み中の7月31日、8月3日〜4日の3日間は公民館で「寺子屋」を開催。約20名の参加があり盛況でした。

## ふれあい体験会に参加して

今年のふれあい体験会は、八月十日(日)、「国営アルプスあずみの公園大町、松川地区」でした。しかし、当日は台風の影響で雨降りとなつてしまい、残念ながら外の活動は急きよ中止、クラフト体験だけとなりました。体験は2種類で、「森のフレイムづくり」は写真立、「石器づくり」は古代アクセサリーのまが玉でした。家族で参加された方が多く、それぞれ個性あふれる作品を完成させました。

次は全員で「食体験」五平餅作り。ご飯を少しづつし、棒に巻き付け、焼いて味噌だれをつけて完成。自分で作った五平餅は美味しかったなあ。

昼食が終わっても雨が止まなかつたため、予定を変更し早めに帰ることに…

天候には恵まれなかったものの、帰りに参加者の多くから「楽しかった」といわれてほつとしました。



(松南地区子ども会育成会) 会長 中田清和

## 上高地ウォーキング

8月19日の火曜日、松南地区公民館の講座として上高地ウォーキングを行いました。この講座企画のきっかけは、なんなんひろぼの窓口での声でした。それは、勤労青少年ホーム主催の上高地ハイキングの案内をご覧になった方々の「私も行ってみたい」というものでした。いざ参加者を募集してみると、受付を開始して一時間足らずで定員に。当日はちょうど夏休みの最終日ということもあり、小さいお子さんから高齢の方まで、幅広い世代の皆さまにご参加いただきました。天候にも恵まれ、大正池から河童橋を爽やかに歩くことができ、ご好評をいただきました。



今回、定員の都合でご参加いただけなかった方が大勢いらっしゃいましたので、今後バスを利用した講座を企画していく予定です。また今回の講座に限らず、ぜひ皆さんの「これをやってみてみたい」という声をお聞かせいただければと思います。

# わがまちのお宝へ双葉西町会



写真提供：中田清和氏

「良くわからないので、即答はできませんが、知ってほしいような人何人か聞いてみましょう。」

「あれは何？」  
他の地区の方からよく聞かれる質問です。

双葉第二団地の中央に大きな白い塔があります。住民にとっては毎日目にする当たり前のものですが、他から見ると不思議なのでしょう。

双葉西町会は、昭和58年頃に建てられ、4棟140世帯からなる団地の町会です。この白い塔は、この全世帯に供給する受水給水塔なのです。和蝸燭の本体に、UFOが乗っかっているような、とてもユニークな形をしています。

では、なぜそんな形にしたのか？なぜ団地の中央に造られたのか？そんな疑問を松本地方事務所建築課に問い合わせてみました。電話口に出てくださった方も

時間。「先ほどの話ですが、当時のことを詳しく知る人がいないので、ハッキリしたことはわかりませんが、50年代の県住の建築方式だったらしい」という回答。「その当時は給水塔にした方がコストが安かったのでは？そういった意味では珍しい物ではありますね。」とのことでした。

いずれにしても、団地のシンボルであり、将来お宝にしていきたいものです。古くからの町会では、いろいろな行事や伝統的なものがあると思いますが、当町会は歴史も浅く、ご近所づきあいもあり無い現状です。良いコミュニケーションがとれるよう、町会で楽しい行事を工夫し、恒例にしていきたいと考えています。夏には納涼祭、冬には

もちつき大会：そうそう今年の夏は七夕を飾り、初の七夕祭りを行いました。どうしても子供が中心となつてしまうので、子供がいな

いので、即答はできませんが、知ってほしいような人何人か聞いてみましょう。」

「先ほどの話ですが、当時のことを詳しく知る人がいないので、ハッキリしたことはわかりませんが、50年代の県住の建築方式だったらしい」という回答。「その当時は給水塔にした方がコストが安かったのでは？そういった意味では珍しい物ではありますね。」とのことでした。

いずれにしても、団地のシンボルであり、将来お宝にしていきたいものです。古くからの町会では、いろいろな行事や伝統的なものがあると思いますが、当町会は歴史も浅く、ご近所づきあいもあり無い現状です。良いコミュニケーションがとれるよう、町会で楽しい行事を工夫し、恒例にしていきたいと考えています。夏には納涼祭、冬には

もちつき大会：そうそう今年の夏は七夕を飾り、初の七夕祭りを行いました。どうしても子供が中心となつてしまうので、子供がいな

## ひと 北沢安子さん



(増田薫子)

芳野町にお住いで、八十五歳となられてもお元気で押絵を楽しまれていた北沢安子さんをご自宅にお訪ねしました。ご結婚

後、両島に在住されていた頃（昭和五十年当時）、井上百貨店の文化教室で開催されていた押絵教室「スガタ流創作押絵」水野門下生となりました。持ち前の手先の器用さで腕前は上達し、師範の資格を取得されました。その後はお勤めのかたわら、教授をされたり、作品の展示会を行い、乞われると販売もされていました。

大きな作品は「日本美人画」「源氏物語絵図」など沢山の作品を作られました。また、小さなものでは「干支」の色紙画や、「童」・「羽子板」など、何百点も制作し、出展、販売をしたとのこと、多くの方々に喜ばれました。

今は作品作りや教室は開催されていませんが、相変わらずの手先の器用さで「松本てまり」などの趣味を楽しんでいらつしゃいます。

新しくなった芳野町公民館に寄贈したいとの申し出があり、数点を戴けることになりました。大切に管理し、飾っていきたいと思います。ありがとうございました。

(百瀬 壽)

## コラム 松南

野菜が高値を呼んでいる。あるスーパーを覗いてみると、夕方にもかかわらず、野菜コーナーには人影がまばらである。

新聞、テレビ等各メディアの情報からも、6月から8月、いわゆる夏の日照は平年の半分、雨量は2倍強の冷夏であった。その影響により「規格外野菜」も多く、曲がったり、大小バラバラで不揃いのものがあり、価格は平年の1.9倍と高騰している。又、産地も北海道・東北・関東と他県の生産物も多く、地産地消を目的とする県内産は心なしか少ない。九月の松南地区イベントの「未来まつり」でも我が双葉町会ブースは、野菜を販売するため、生産農家と仕入れ交渉に苦慮している。

自身、退職後、十数年野菜を作ってきた。良い物を作るには良好な自然条件と土壌施肥、消毒、散水と根気のいる作業だ。また、雑草との戦いも通年苦闘の連続である。作る喜び、収穫時と友人に喜んで頂いた時の満足感、格別なものだ。日々の生活のなかで、野菜は欠かせないもの、昔から「一汁三菜」の食習慣をとり、食欲の秋を迎えるにあり、気象回復を祈る日々である。

(小林智博)